

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公開番号】特開2008-50367(P2008-50367A)

【公開日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-009

【出願番号】特願2007-287366(P2007-287366)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/232

A 6 1 P 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イコサペント酸エチルエステルを有効成分として含有する、
心血管再建術施行後不安定期を経過した後に起こる心血管イベントの発症を予防するための
心血管イベント予防用組成物。

【請求項2】

心血管再建術施行後不安定期を経過した後に投与を開始する請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

イコサペント酸エチルエステルを有効成分として含有する、
心血管再建術施行後6ヶ月を経過した後の患者のための心血管イベント発症を予防する心
血管イベント予防用組成物。

【請求項4】

前記患者が、心筋梗塞発症後6か月以内の患者を除いた患者である、請求項3に記載の
組成物。

【請求項5】

心血管再建術施行後6ヶ月を経過した後に投与を開始し、少なくとも2年以上継続して
投与することを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の組成物。

【請求項6】

心血管再建術が、経皮的冠動脈内腔拡張術(P T C A)、経皮的冠動脈内血栓溶解術(P T C R)、方向性冠動脈粥種切除術(D C A)、冠動脈ステント留置術、冠動脈バイパス術(A C バイパス術)である請求項1ないし5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】

前記患者が、高脂血症であることを特徴とする請求項1ないし6のいずれかに記載の組
成物。

【請求項8】

前記患者の血清T-C h o濃度が、220mg/d l以上、および/または、血清L D
L-C h o濃度が140mg/d l以上である請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

全脂肪酸およびその誘導体中のイコサペント酸エチルエステル含量比が 96.5 重量%以上である請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

イコサペント酸エチルエステル 1.8 g/日～2.7 g/日で経口投与することの特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルコエンザイム A 還元酵素阻害剤と併用すること
を特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】

3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルコエンザイム A 還元酵素阻害剤が、プラバスタチン、シンバスタチン、および、アトルバスタチンからなる群から選択される 1 以上である、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルコエンザイム A 還元酵素阻害剤の 1 日当たりの投与量が、プラバスタチン 5～20 mg/日、シンバスタチン 2.5～20 mg/日、または、アトルバスタチン 5～40 mg/日である請求項 12 に記載の組成物。